

市長 公約は、第7次総合計画の実施計画に位置づけ、毎年ローリングして進行管理を行うことで実現する。さらに財源についても、一概に運営コスト等の比較を行うとともに、中・長期的な視点でも

議員 公約の実現に向けた個々のロードマップ及び財源の裏づけを示していただきたい。

市長 命は何物にも代え難い一番大切なものである。離島を持つ瀬戸内海沿岸のほとんど全ての自治体が救急艇を配備しており、一概に運営コスト等の比較を行うべきものではないと考える。

議員 現行の委託方式と導入による直営方式との運営コスト等の比較についてたずねる。

市長 いつ収束するかも見通しが立たず、長期的な対策が必要となると考えている。市民の生活を第一に考え、国や県としっかりと情報を共有しながら、来年度以降の対策を見据えた長期的な視点での独自施策を検討し、国、県の追加

議員 新型コロナウイルス感染症対策の財源についてたずねる。

市長 支援を行うことも今まで以上に大変になつたと捉えている。また、1人1台端末が今年度中に整備されることを踏まえ、ICTを活用した学習支援など、多様な教育機会を確保していくため、教育委員会として来年度研究的に取り組む。

市長 ふるさと納税や未利用市有地売却の推進等、ありとあらゆる手段を使って自主財源を増やす努力をしてきた。コロナ禍においても引き続き財源確保に努める。

市長 島しょ部の救急搬送については、救急艇配備が最も早く対応でき、島民の負託に応えられるものと考え基本設計に係る予算を計上した。

市長 ありとあらゆる手段を使って自主財源を増やす努力をし、真に必要な事業に限定して、徹底的に再投資する正のスパイラルを生むことで強固な財政基盤を作り上げ、第7次総合計画に掲げたまちづくりの実現を行う。

教育長 通知では、学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、児童・生徒が自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立することを目指すことが明記された。そのため、社会的自立性の支援を行うことも今まで以上に大切

議員 コロナ禍の中で経済活動は低迷している。公約の実現には強固な財政基盤が重要と考えるが、現状をどの様に考えているのか。

議員 議会に対し、新造艇を造るという話もなかつた。救急艇導入ありきでの予算計上かたずねる。

議員 今後の財政の見通しについてたずねる。

議員 昨年10月に文部科学省より不登校児童・生徒への支援の在り方について通知がなされた。指導法はどのように変わったのか。

コロナ禍における財政運営について問う

財政運営を行い、実現に努める。
救急艇について問う



笠栄会

質問者
妹尾博之議員
所属議員
山本俊明議員



財政運営の在り方の基本方針について問う

支援、経済対策などを活用し、必要であるなら財政調整基金の取崩しも躊躇せず、対策を徹底する。



創政みらい

質問者
大月隆司議員
所属議員
天野喜一郎議員
森岡聰子議員
仁科文秀議員
栗尾典子議員
桑田昌哲議員

コロナ禍における財政運営について問う

財政運営を行い、実現に努める。
不登校児童・生徒への支援の在り方について問う

支援、経済対策などを活用し、必要であるなら財政調整基金の取崩しも躊躇せず、対策を徹底する。